2026年度 第2四半期決算説明資料

2026年8月7日

サッポロビール株式会社(2501)

URL: https://www.sapporobreweries.com/

2026年11月4日に適時開示しました「2026年12月期 第２四半期（中間期）決算短信〔ＩＦＲＳ〕の一部訂正に関するお知らせ」の訂正内容を反映し、
数値を更新いたしました(対象: Appendix P26-27)

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

目次

サマリー - P3

1. 決算ハイライト・トピックス - P4
- 連結 - P5
- 事業セグメント別 - P6
- 売上収益増減 - P7
- 事業利益増減 - P8
- 株主施策の取り組みについて - P9

2. 事業戦略 - P10
- サマリー - P11
- 国内事業(国内酒類) - P12-13
- 国内事業(国内食品飲料) - P14
- 海外事業(海外酒類・海外飲料) - P15-16
- アクションプランKPI - P17
- (参考)アクションプラン - P18

Appendix - P19-35

*本資料中で使用する略称・用語について
SB社: サッポロビール株式会社　PS社: ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社　SPB: SAPPORO PREMIUM BEER
Q2: 第2四半期(1-6月)　ビール類: ビール・発泡酒(発泡酒②含む)　ビール: ビール類のうちビール
ESCO工場: Escondido工場　RVA工場: Richmond工場

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

サマリー

2026年度第2四半期決算および通期業績予想

(億円)	連結(実績) 2025Q2 実績	2026Q2 実績	増減	前年比
売上収益	2,353	**2,359**	+6	+0.3%
事業利益	49	**68**	+18	+37.2%
営業利益	52	**▲59**	▲111	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	18	**2,954**	+2,937	-

*比較年度である2025年度実績も不動産事業の非継続事業分類後で表示しております

＜第2四半期決算＞

- 売上は前年並みも、事業利益は国内酒類(ビール)を中心に好調に推移し、+37%の増益。計画に対しても順調に進捗
- 営業利益は米国事業の追加的構造改革(Stoneブランド譲渡・生産体制の見直し)に伴う損失計上等により減益。一方、親会社当期利益は不動産事業への外部資本導入に伴う利益計上により大幅増益

＜通期業績予想＞

- 不安定な中東情勢等の影響に対し、コストマネジメント等で対応し、通期業績予想は据え置き

2026年度上半期の総括

成長戦略の着実な推進

- 国内ビール(前年比+5%)および海外サッポロブランド(前年比+15%)の成長を着実に推進

*前年比はQ2実績(1-6月累計)・数量ベース

構造改革・成長基盤の構築

- 国内飲料自販機事業の事業承継、米国事業の追加的構造改革、不動産事業への外部資本導入、事業持株会社体制への移行を実行し、中長期的な成長に向けた経営基盤を強化

新たな成長ステージへの転換

- カールスバーグ社との戦略的資本業務提携の発表、中期経営計画2027-2030の策定、株主施策のさらなる強化等を通じて、持続的な企業価値・株主価値の拡大に向けた成長ステージへの転換を推進

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

1. 決算ハイライト・トピックス

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026Q2決算ハイライト(連結)

≫ **売上は前年並みも、事業利益は国内酒類(ビール)を中心に好調に推移し、+37%の増益。営業利益は構造改革影響等により減益となった一方、親会社当期利益は不動産外部資本導入に伴う利益計上により大幅増益**

(億円)	2025Q2 実績	2026Q2 実績	増減	前年比
売上収益	**2,353**	**2,359**	+6	+0.3%
EBITDA	**134**	**154**	+20	+15.1%
事業利益(売上収益-売上原価-販管費)	**49**	**68**	+18	+37.2%
(事業利益率)	2.1%	2.9%	-	-
その他の営業収益・費用	**3**	**▲126**	▲129	-
営業利益	**52**	**▲59**	▲111	-
金融収益・費用/持分法投資損益	**▲26**	**12**	+38	-
税引前利益	**26**	**▲47**	▲73	-
継続事業からの当期利益	**6**	**▲49**	▲55	-
非継続事業からの当期利益	**11**	**3,004**	+2,993	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	**18**	**2,954**	+2,937	-

*比較年度である2025年度実績も不動産事業の非継続事業分類後で表示しております

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026Q2決算ハイライト(事業セグメント別)

≫ **売上は構造改革影響により国内食品飲料が減収も、国内酒類を中心に増収となり、全体で前年並み。事業利益は国内酒類のビール成長、国内食品飲料・海外酒類のコスト構造改革効果等により、全体で+37%の増益**

(億円)	売上収益				事業利益			
	2025Q2 実績	2026Q2 実績	増減	前年比	2025Q2 実績	2026Q2 実績	増減	前年比
国内事業	1,767	**1,745**	▲22	▲1.2%	88	**117**	+28	+32.0%
国内酒類	1,277	1,304	+26	+2.1%	78	99	+20	+26.2%
外食	101	103	+2	+2.0%	7	6	▲1	▲17.1%
国内食品飲料	389	338	▲50	▲13.0%	3	12	+9	+310.6%
海外事業	586	**614**	+28	+4.8%	1	**2**	+0	+21.2%
海外酒類	463	488	+26	+5.5%	▲5	▲0	+5	-
海外飲料	123	125	+3	+2.1%	6	2	▲4	▲70.1%
その他/その他・全社	-	**-**	-	-	▲40	**▲51**	▲10	-
連結	2,353	**2,359**	+6	+0.3%	49	**68**	+18	+37.2%

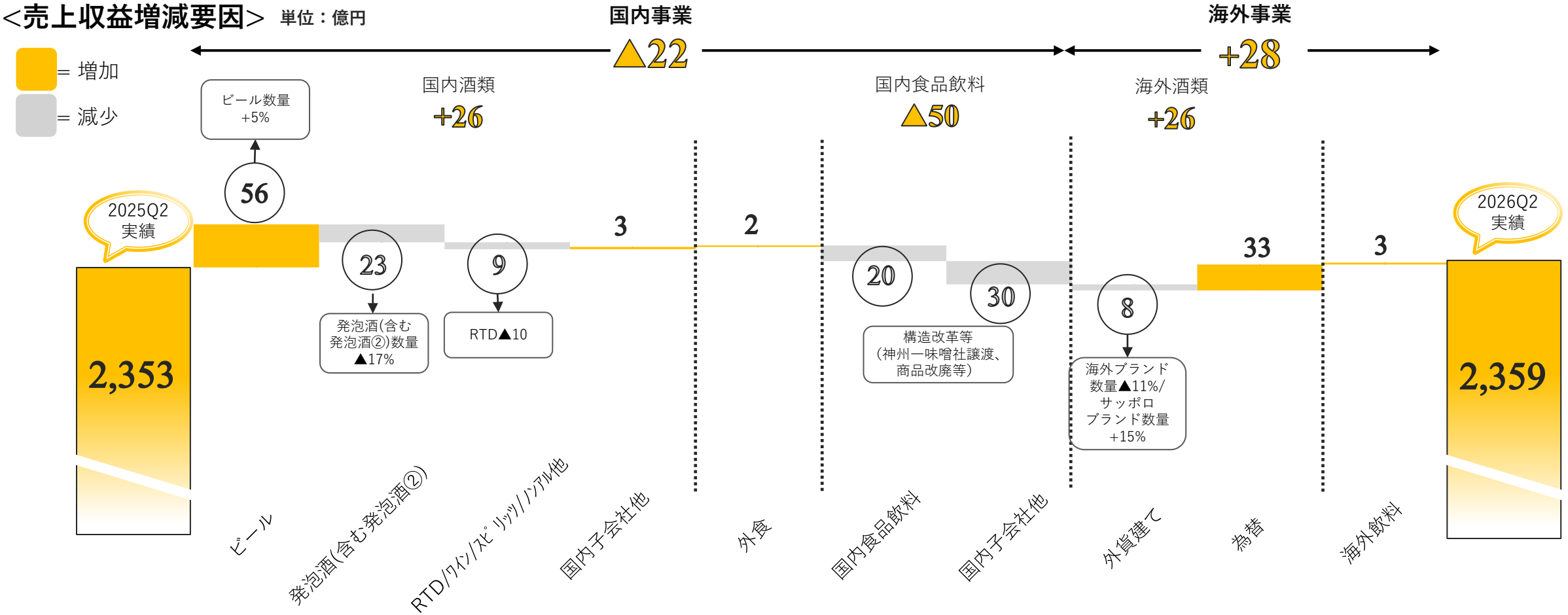
*比較年度である2025年度実績も不動産事業の非継続事業分類後、セグメント変更後で表示しております

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026Q2決算ハイライト(売上収益増減)

» **構造改革影響等により国内食品飲料が減収も、国内酒類を中心に増収となり、全体で前年並み(+6億円)**
- 国内酒類: 黒ラベルを中心に強化を進めるビールが好調に推移し、増収
- 国内食品飲料: 構造改革影響等により減収
- 海外酒類: 海外ブランドは減収も、サッポロブランドの成長・為替影響により増収

<売上収益増減要因> 単位:億円

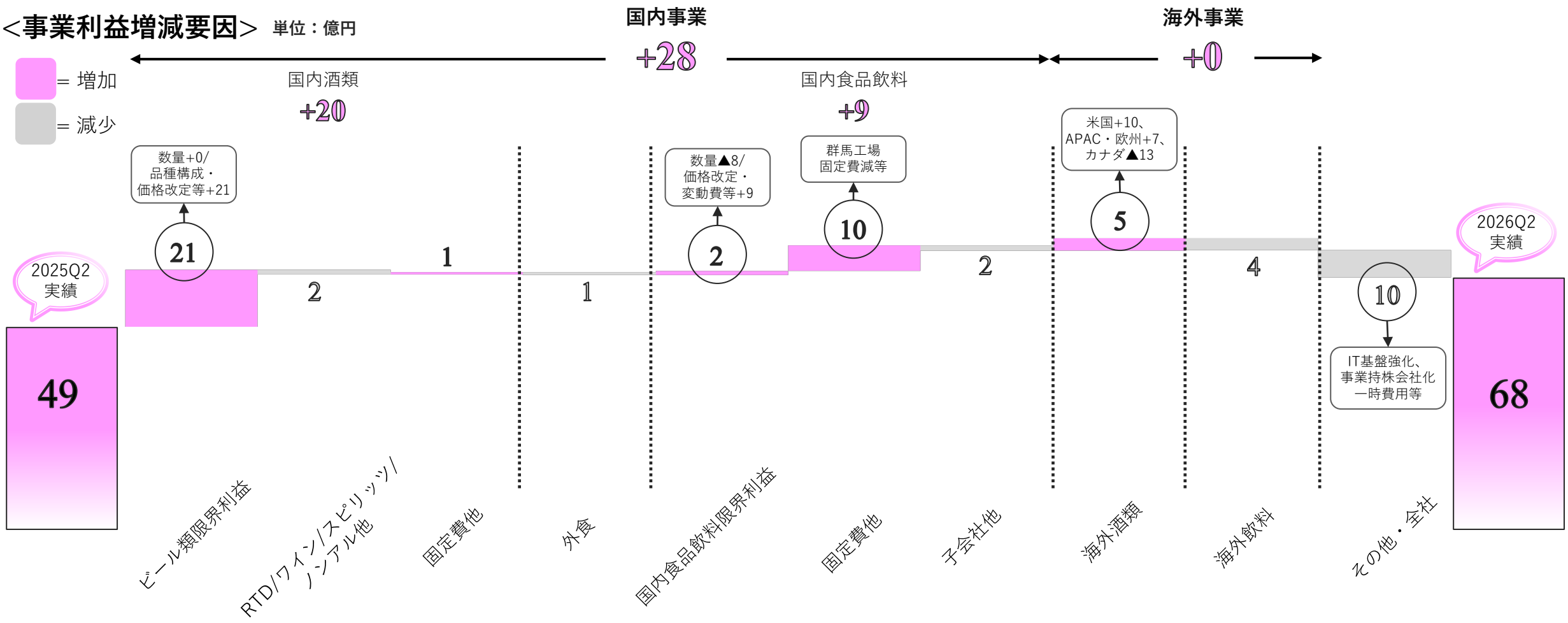


Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2026Q2決算ハイライト(事業利益増減)

» **国内酒類のビール成長、国内食品飲料・海外酒類のコスト構造改革効果等により、全体で+37%(+18億円)の増益**
- 国内酒類: 黒ラベルを中心としたビールの好調、価格改定効果等により増益
- 国内食品飲料: 構造改革影響により減収も、価格改定効果・コスト構造改革効果等により増益
- 海外酒類: 北米およびAPAC・欧州双方でのサッポロブランドの成長や米国のコスト構造改革効果等により増益

<事業利益増減要因> 単位:億円



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

株主施策の取り組みについて

» 2025年より株主施策を強化し、配当方針を変更、株式分割を実施、中間配当を導入
» 今般、さらなる株主還元の拡大と資本効率の向上を目的として、2030年DOE目標を4%以上から5%以上への引き上げ、累進配当の導入、自己株式取得の方針、株主優待制度の拡充を決定

今までの取り組み

配当方針の変更(2025年12月決定)
- 安定的かつ持続的な利益還元を目的としてDOEを導入
- DOE3%以上を目安とし2030年のDOE目標を4%以上に設定

株式分割の実施(2026年1月1日付)
- 株式の流動性向上および投資家層の拡大を目的として、普通株式1株につき5株の株式分割を実施

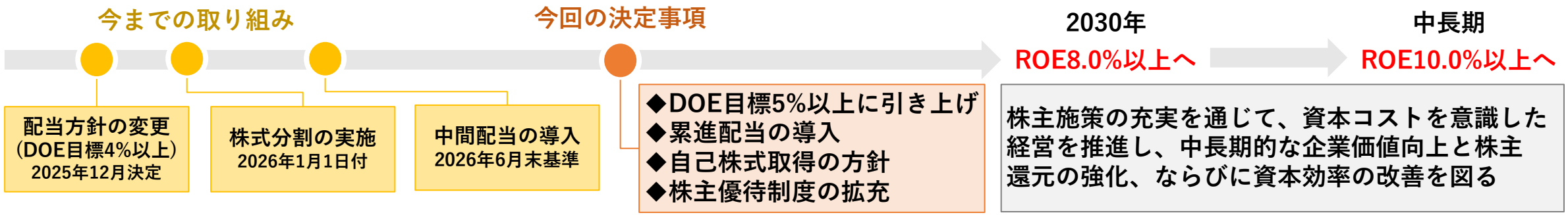
中間配当の導入(2026年6月末基準)
- 株主の皆様への利益還元機会の充実を目的として中間配当を実施

今回の決定事項

配当方針の変更
- 2030年のDOE目標を4%以上から5%以上に引き上げ
- 累進配当の導入 (新経営計画期間の配当総額は800億円程度を予定)

自己株式取得の方針
- 適正資本水準の実現による資本効率向上に向け、2030年までの自己株取得総額1,700億円程度を実施予定

株主優待制度の拡充
- 株主の皆様との関係をより一層深めることを目的として、継続保有期間および保有株式数に応じた対象区分を拡充・新設



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

2. 事業戦略

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略: サマリー

» Bonds with Communityを通じ、ビールを中核とした既存事業のプレミアム化を推進。
併せて、強みであるレモンを軸としたHealthier Choiceの拡大を通じて、中長期的な収益力の強化を図る

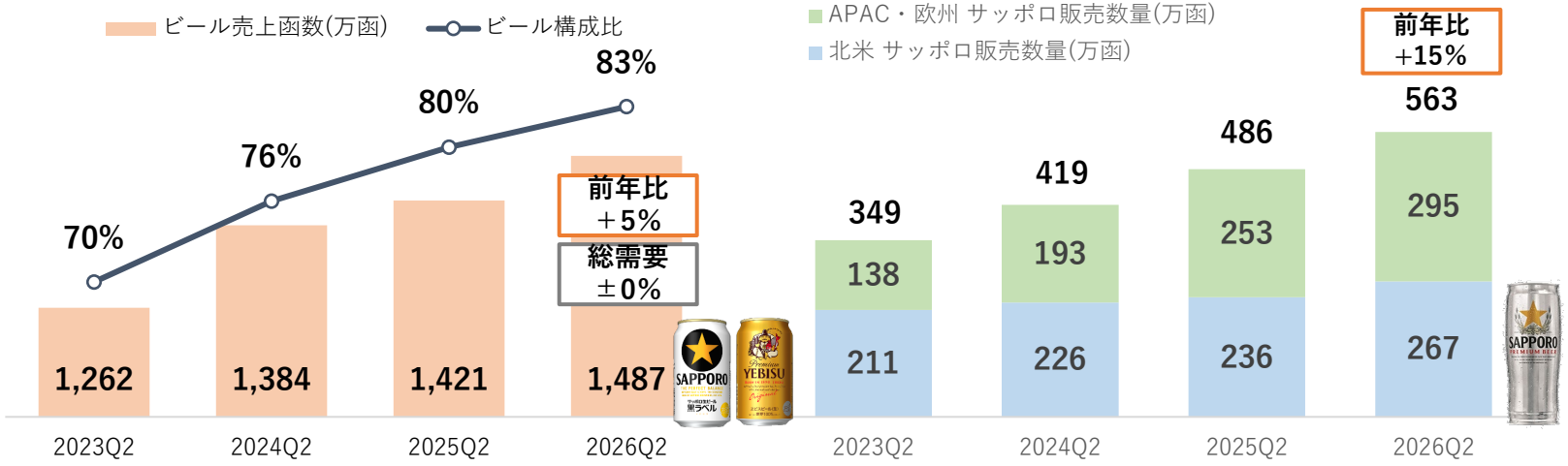
Bonds with Community

国内酒類

プレミアムなブランド体験を起点とした顧客接点の拡大により、ビールカテゴリーの持続的成長を実現

- 黒ラベル・ヱビスが好調なトレンドを継続し、ビール計で総需要を5pt上回り進捗
- KPIのビール構成比も4年間で10pt以上上昇

酒税改正に向け、黒ラベル・ヱビスに投資を集中体験によりファン化を図り、缶の購買につなげる



海外酒類

日本との結びつきを持つプレミアムブランドとしての価値を基盤にグローバルでのSPB成長を加速

- 米国・カナダともに総需要が縮小する中、サッポロブランドは前年比+13%と好調なトレンドを継続
- APAC・欧州も前年比+17%と成長を牽引

重点エリアを中心に、プレミアムブランドとしての競争優位を強化し、量的拡大の実現を目指す

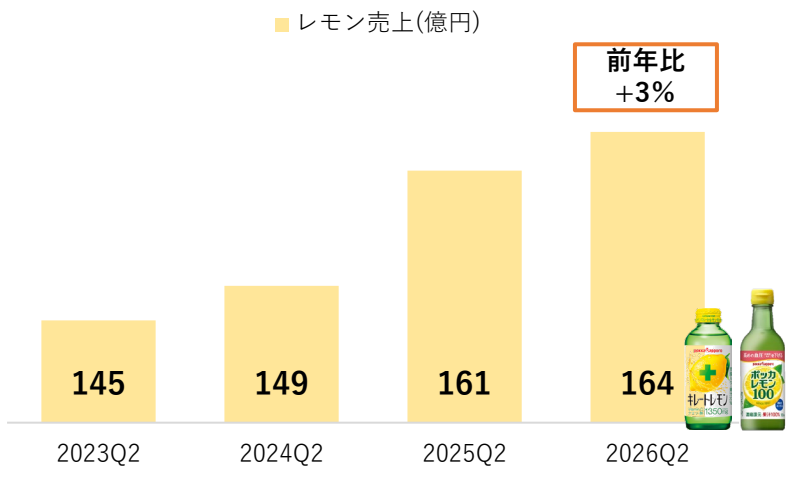
Healthier Choice

国内食品

レモンに経営資源を集中し、安定的な成長と収益力強化を実現

- 注力しているレモンの売上金額は右肩上がりに上昇(前年比+3%の成長)

レモンの圧倒的シェアと専門知見を競争優位の源泉とし、マーケティング・商品開発を推進



*総需要は当社推計値

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

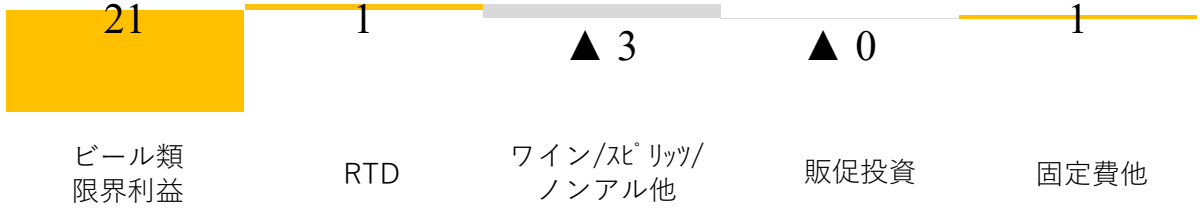
事業戦略: 国内事業(国内酒類)

≫ 黒ラベルを中心としたビールの好調および価格改定効果により、増収・増益

財務情報

(億円)	2026Q2	増減	前年比
売上収益	1,304	+26	+2.1%
事業利益	99	+20	+26.2%
事業利益率	7.6%	-	-

利益増減要因(前年比)



ビール強化(1-1)

*ビール強化の取り組み詳細はP13に記載



◆ **ビール構成比: 83%(前年比+3pt)**

*市場:ビール構成比58%
(2025年末時点、当社推計値)

- 前年4月の価格改定による需要減の反動により、Q2期間の総需要は前年を大きく上回る。Q2累計ではビール類は前年割れ、ビールは前年並み
- 当社は強化を進める主軸の黒ラベル・ヱビスが好調なトレンドを維持。ビール類・ビールともに市場をアウトパフォームし、計画も上回り進捗
- 黒ラベル・ヱビス以外のビールブランドも継続して成長。特にサッポロラガー瓶はQ2累計前年比+22%と好調なトレンドを継続



- 酒税改正を見据え、ビール類のカテゴリ区分を[プレミアム/メインストリーム/エコノミー]に移行*。当社は、プレミアム及びメインストリームの強化を継続

*ビール類のカテゴリ区分変更についてはP31に記載

＜売上数量＞ *総需要(数量ベース)は当社推計値

	ビール類		ビール		ビール<缶>	
	総需要	当社	総需要	当社	総需要	当社
Q2期間	+12% <	+14%	+13% <	+16%	+16% <	+20%
Q2累計	▲3% <	±0%	±0% <	+5%	+1% <	+6%

RTD強化(1-2)



◆ **RTD売上金額: 前年比▲6%**

- 主軸の濃いめブランドの前年割れにより、市場をアンダーパフォーム。リカバリーに向けた販促施策を予定
- 価格改定効果・コストマネジメント等により増益を確保

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略: 国内事業(国内酒類)

ビール強化の取り組み

≫ ブランド体験拠点のさらなる強化を通じて顧客接点を拡大。ファン層の拡大と顧客価値の創出につなげる

ブランド体験拠点のさらなる強化

黒ラベルTHE BAR

- 黒ラベルの通年型ブランド体験拠点の2店舗目として「THE BAR OSAKA」を大阪市梅田に開業(7月)
- 1店舗目である「THE BAR(銀座)」は累計来場者数50万人を突破(2019年開業)

2025年来場者数実績：約11万人
(前年比+10%)



YEBISU BREWERY TOKYO

- 4月に開業2周年を迎え、音声ガイド導入など、より充実した体験拠点に進化
- ヱビス企画品と連動したイベント等を定期的に開催(7月:漫画家/矢沢あい氏コラボ「ヱビスの美人画と宵祭り」)

2025年来場者数実績：約30万人
(前年比+25%)



銀座ライオンビル

- SLN社*が所有・運営する銀座ライオンビルの4階フロアに、黒ラベル・ヱビスの新たなビール体験拠点を開業(10月予定)

*株式会社サッポロライオン

2025年来場者数実績：約60万人
(前年比+3%)



サッポロビール博物館

- 創業150周年の節目として、「サッポロビール博物館」をバリューアップオープン(7月)
- 体験型コンテンツを強化し、有料化。多言語対応の音声ガイドサービスを導入

2025年来場者数実績：約70万人
(前年比+20%)



コミュニケーション強化によるファン層拡大

- 黒ラベル・ヱビスの会員制のWebサイトを運営
- 会員数の拡大に加え、Webサイト内でのユーザーとのコミュニケーション強化により、ファン層の拡大に繋げる取り組みを推進

会員数の状況

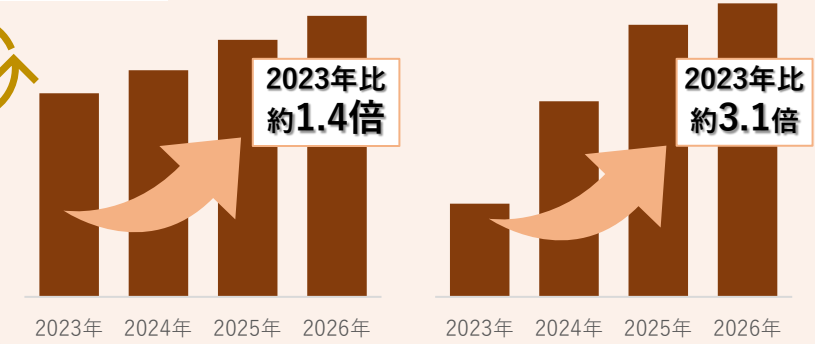
CLUB黒ラベル
(2018年3月~)

CLUB サッポロ生ビール 黒ラベル

2026年6月末時点
約70万人

YEBISU BEER TOWN
(2022年9月~)

2026年6月末時点
約23万人



顧客体験と購買行動を結ぶID分析基盤への投資を進め、顧客接点の拡大と顧客価値の創出に繋げていく

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略: 国内事業(国内食品飲料)

≫ 事業譲渡等の構造改革影響により減収も、価格改定効果・コスト構造改革効果等により増益

財務情報

(億円)	2026Q2	増減	前年比
売上収益	338	▲50	▲13.0%
事業利益	12	+9	+310.6%
事業利益率	3.5%	-	-

利益増減要因(前年比)



抜本的な構造改革(5-1)

◆ コスト構造改革: 前年比+5億円

- PS社群馬工場譲渡や仙台工場スープ製造稼働停止等、生産拠点再編等の取り組み効果が利益に寄与。Q2累計で前年比+5億円
- 本年3月に意思決定した飲料自販機事業の事業承継について、10月の承継完了に向けて着実にプロセスを進行中

レモン強化(5-2)



◆ レモン売上金額: 前年比+3%

- レモン飲料が前年6月の猛暑による需要増の反動影響を受けたものの、レモン全体では成長トレンドを継続
- 下期の販促強化および、予定している価格改定も踏まえ、年間計画達成を目指す
  - レモン飲料:「キレートレモン クエン酸2700」や「キレートレモン MUKUMI」など、健康・美容軸の商品が引き続き好調。最盛期における販促施策の実施に加え、健康価値訴求の強化により売上拡大を図る
  - レモン食品:「ポッカレモン100」を中心に、健康機能価値の認知拡大に向けた情報発信強化により、さらなる売上拡大を目指す。原材料価格やエネルギーコストの高騰を受け、本年9月より一部商品の価格改定を予定

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

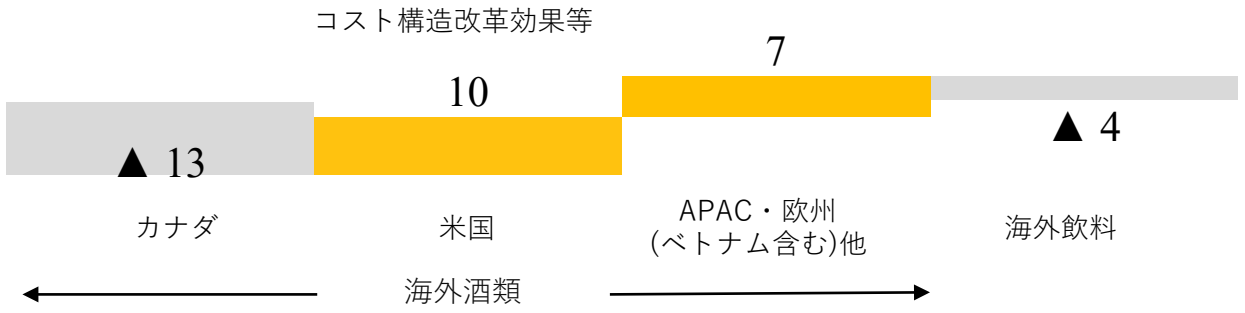
事業戦略: 海外事業(海外酒類・海外飲料)

≫ 北米およびAPAC・欧州双方でのサッポロブランドの成長や米国のコスト構造改革効果等により、増収・増益

財務情報

(億円)	2026Q2	増減	前年比
売上収益	614	+28	+4.8%
事業利益	2	+0	+21.2%
事業利益率	0.3%	-	-

利益増減要因(前年比)



海外酒類: エリア別概況

*総需要(数量ベース)は当社推計

カナダ	● インフレ影響を受け、年間のビール総需要は前年比▲3%程度を見込む ● 当社はSPBが成長トレンドを継続する一方、ビール総需要縮小・競争激化に加え、不正アクセス事案による一時的な出荷機会損失の影響を受け、Sleemanブランドが前年を下回り推移 ● 2027年以降の利益回復に向け、2026年中よりコスト構造改革を進めていく
米国	● ビール総需要はQ2累計で前年比▲3%。中東情勢悪化や、それに伴うガソリン高騰等を背景に、縮小傾向が続く ● Q2期間において、米国事業における資産譲渡および生産体制の見直し*に伴う譲渡益および減損損失を計上 ● 上記の追加的構造改革の実行に伴い、コスト構造改革に関するKPIは前年比+$10Mで計画達成・完了とする。SPBのさらなる拡販およびコストマネジメントにより計画達成を目指す
APAC・欧州	● 本エリアにおける当社売上構成比が最も大きい東アジアを中心に、各国でSPBの好調トレンドが継続しており、数量は前年を上回って推移

*「米国事業における資産譲渡および生産体制の見直し」の概要については、P20-22に記載

海外酒類: サッポロブランド成長

*前年比は売上数量ベース
*サッポロブランドの取り組み詳細はP16に記載

◆ サッポロブランド数量: 563万函(前年比+15%)



- 北米: 総需要が縮小する中、前年比+13%と好調なトレンドを継続
- APAC・欧州: 前年比+17%と各エリア好調で、サッポロブランドの成長を牽引

海外飲料

- 中東情勢悪化等の影響を受け、輸出を中心に売上が減少
- 不正アクセス事案の影響は限定的であり、段階的な復旧対応および今後のセキュリティ対策強化を実施していく
- 計画に対してビハインドで進捗。コストマネジメントを進めるとともに、他事業を含めたグループ全体でカバーしていく

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略: 海外事業(海外酒類)

サッポロブランド成長に向けた取り組み

≫ ブランドの一貫性と市場適応性を両立したマーケティングにより、重点エリアでの持続的な成長を目指す

北米

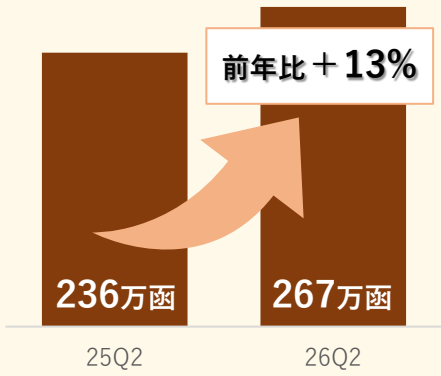
- 総需要が縮小する中、カナダ・米国ともにSPBは成長トレンドを継続

- カナダ(前年比+5%*):SPBは家庭用・業務用ともに好調なトレンドを継続。新発売したSapporo Premium Cocktail Vodka Lemon Sourも計画を上回り順調に進捗

- 米国(前年比+16%*) :米系スーパーマーケットチェーンやCVS業態での取り扱いが引き続き拡大。Q2累計の米系チェーン導入率は前年比約20%増

- Bonds with Community戦略の下、サッポロブランドを通じた日本文化の体験を創出。下期もキャンペーンやデザイン缶の展開により、顧客接点の拡大を図る

売上数量推移(Q2累計)





日本旅行などがあたる
消費者向けキャンペーンを展開
(カナダ)



カプコン・鬼武者コラボの
デザイン缶を発売予定(米国)

*前年比はサッポロブランドの売上数量ベースで記載

APAC・欧州

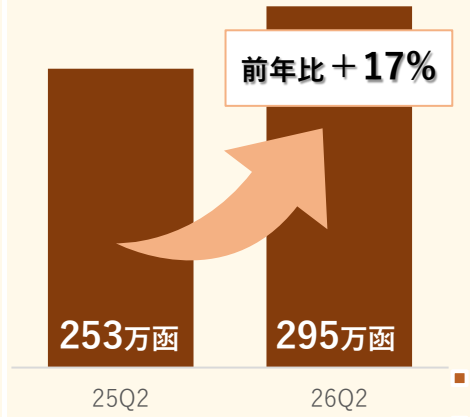
- エリア別パートナーとの協業により重点エリアの好調が継続。SPB成長を牽引

- 東アジア(前年比+16%*):当社売上構成比の大きい韓国・中国ともに家庭用中心に好調

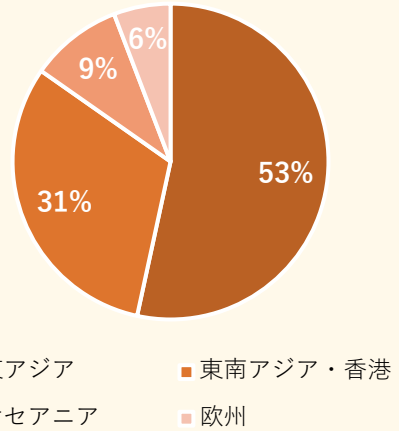
- 東南アジア・香港(前年比+28%*):CB社提携国である3か国※1は前年比約3割増。今後は戦略的業務資本提携※2により対象エリアを拡大し、成長加速を図る

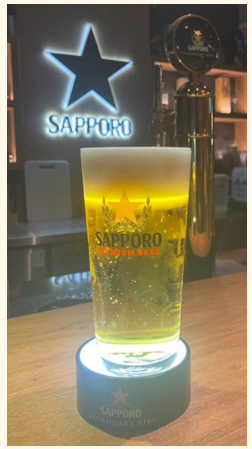
- 各国の業務用市場での高品質な樽生によるブランド体験を通じ、家庭用での購買につなげる取り組みを推進

売上数量推移(Q2累計)



売上数量構成比(Q2累計)





高品質な樽生の提供(中国)

※1 香港・シンガポール・マレーシア
※2 カールスバーグ社との戦略的資本業務提携については、適時開示資料をご参照ください

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

事業戦略: アクションプランKPI

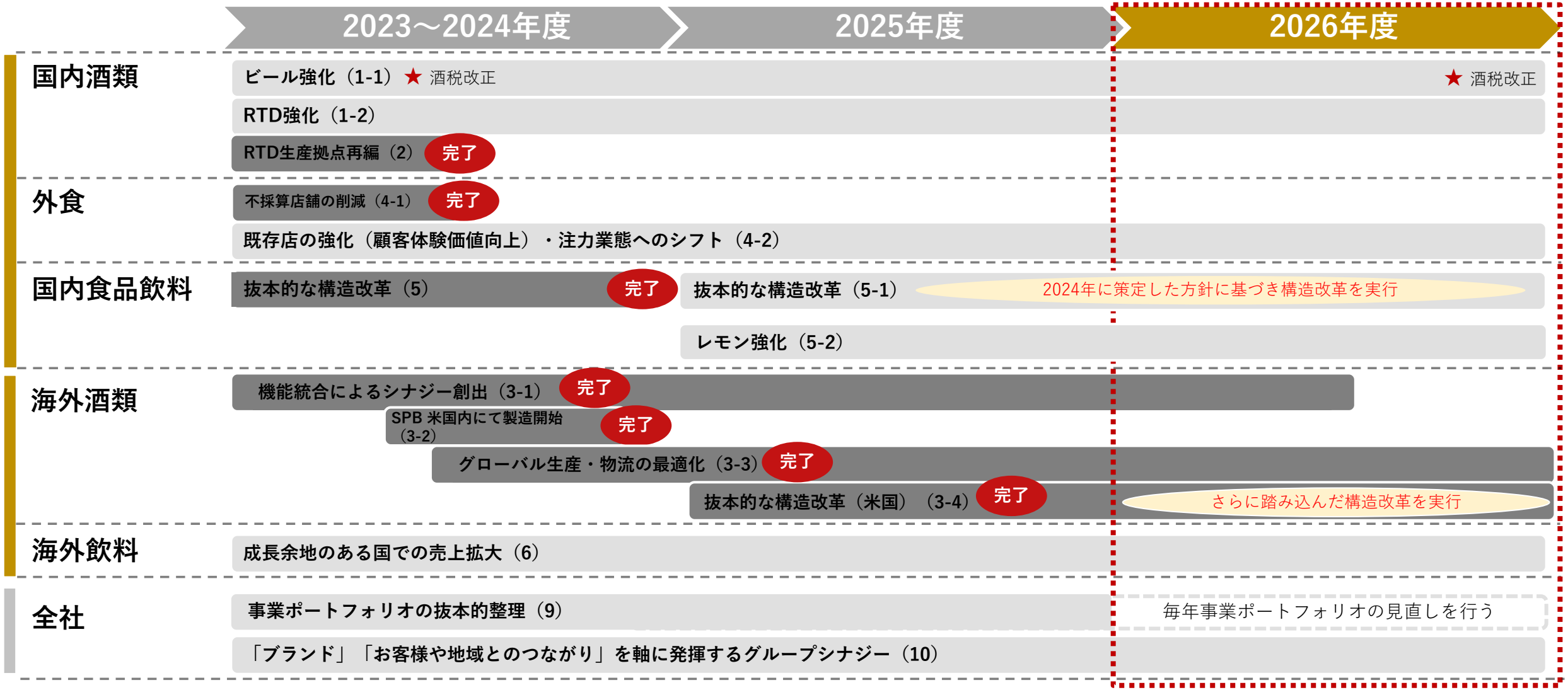
		2025Q2	2026Q2	2026年度計画
国内酒類	**ビール強化・ビール類利益率改善** ビール強化：ビール構成比（1-1）	80%	83%	86%
	RTD事業の成長・生産効率化　他 RTDの成長：RTD(缶)売上金額（1-2）	前年比+30%	前年比▲6%	前年比+9%
国内食品飲料	**コスト構造改革**(2025年~)（5-1）	前年比0億円	前年比+5億円	前年比+6億円
	レモン強化　レモン売上金額(2025年~)（5-2）	前年比+8%	前年比+3%	前年比+9%
海外酒類	**サッポロブランド成長** サッポロブランド数量	489万函	563万函	1,175万函
	Stone社買収シナジー/コスト構造改革 コストシナジー（3-1~3）完了	-	前年比+$2M	前年比+$2M
	コスト構造改革(2025年~)（3-4）完了	-	前年比+$10M 計画前倒しでの取り組み推進および追加的構造改革の実行に伴いQ2で完了	前年比+$10M
海外飲料	**売上拡大**　海外売上金額　(6) *現地通貨ベース(シンガポール通貨)	前年比▲7%	前年比▲13% 中東情勢影響等により計画に対してビハインド	前年比+5%
全社	**事業ポートフォリオの抜本的整理**　(9)	PS社群馬工場 資産譲渡意思決定	米国Stone資産譲渡および生産体制見直し 実行	-

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

(参考)事業戦略: アクションプラン

事業戦略のスライドでは、アクションプラン番号に沿って補足説明しております
(アクションプラン番号は継続性の観点から2023年度以降同じ番号を使用しております)

SAPPORO



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

Appendix

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

米国事業における資産譲渡および生産体制の見直し(海外酒類)(1/3)

SAPPORO

» 米国ビール市場における需要減少が進行する中、サッポロブランド(SPB)は堅調な売上成長を継続
» 米国事業の持続的な成長および収益力改善のため、Stoneブランドに係る知的財産権およびホスピタリティ事業資産を譲渡し、サッポロブランドへ経営資源を集中することを決定

米国事業の現状	◆ 2024年度の減損損失計上後、コスト構造改革による立て直しに取り組んでおり、当初計画に対して前倒しで進捗 ◆ コスト構造改革の進捗およびサッポロブランドの成長により、2026年度にはマイルストーンとして設定したEBITDA黒字化を見込む ◆ 加えて、早期立て直しおよび外部環境変化への対応のため、「さらに踏み込んだ構造改革」についても並行して検討を推進
本意思決定に至った背景・経緯	◆ 米国ビール市場における需要減少の進行を背景に、事業環境は一層厳しさを増す ◆ 一方で、サッポロブランドは堅調な売上成長を継続しており、同ブランドへの経営資源集中が成長加速に資すると判断 ◆ Stoneブランドについては、プロダクトポートフォリオの補完性および効率的な供給体制の観点から、Firestone Walkerをベストオーナーと評価し、同ブランドの譲渡を決定

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

米国事業における資産譲渡および生産体制の見直し(海外酒類)(2/3)

» 本意思決定により米国事業の収益力改善を見込む。今後はRVA工場での米国現地生産・販売体制を維持しつつ、カナダを含めた北米全体での生産体制の最適化を図る

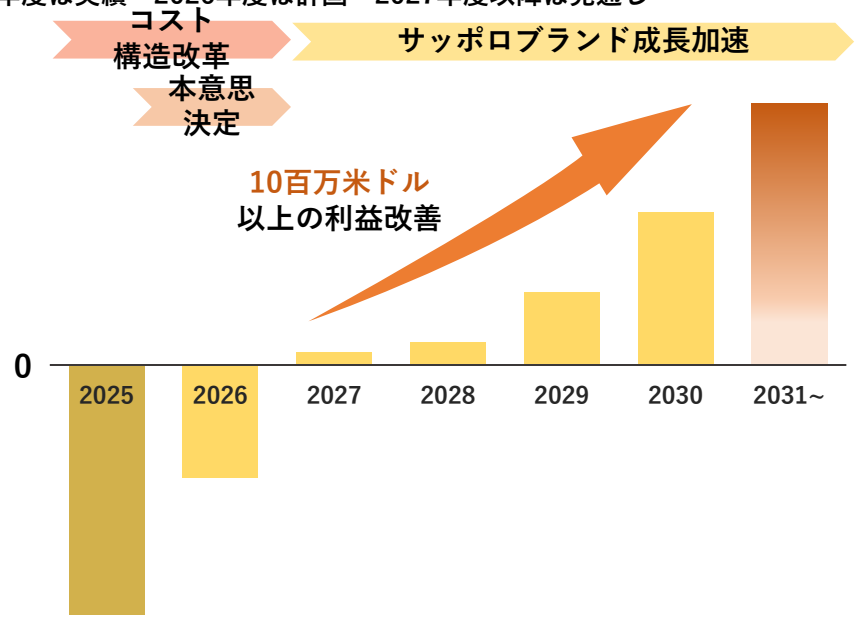
本意思決定の概要

決定内容	■ 米国事業における資産譲渡および生産体制の見直し
譲渡対象資産	■ Stoneブランドおよびホスピタリティ事業資産
譲渡先	■ Firestone Walker, Inc.および同社と同一の親会社であるDuvel Moortgat NVの連結米国子会社
譲渡実行日	■ 2026年5月下旬(予定) ※実行済
米国事業の今後について	■ サッポロブランドへ経営資源を集中し、成長を加速 ■ ESCO工場は2026年内を目途にサッポロおよびStoneブランドのビール製造を停止。ESCO工場の製造設備等については使用見込等を踏まえ資産の見直しを実施予定 ■ 今後はRVA工場での生産・販売体制を維持しつつ、カナダを含めた北米全体で生産体制の最適化を図る
当期(2026年度)業績予想への影響	■ 売上・事業利益への影響は軽微 ■ 第2四半期期間(Q2期間)において譲渡益として約23百万米ドル(約36億円)を計上する一方、減損損失等として約80百万米ドル(約126億円)を計上予定 ■ 当期連結業績予想に一定の構造改革費用を織り込んでいるため、連結業績予想への影響は軽微

米国事業の今後の利益見通し(当社見込)

＜米国事業の事業利益見通し(単位:百万米ドル)＞

*2025年度は実績・2026年度は計画・2027年度以降は見通し



✓ サッポロブランドの成長加速および生産体制の最適化に伴う生産効率向上等により、米国事業の収益力改善を見込む
✓ 本意思決定により、2027年度において10百万米ドル以上の利益改善を見込む

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

米国事業における資産譲渡および生産体制の見直し(海外酒類)(3/3)

» 米国東部のRVA工場に加え、カナダのSleeman社の4工場を補完的に活用。北米全体で生産体制を最適化し、米国市場向けにサッポロブランド(SPB)を供給する

<本意思決定後の生産体制(イメージ)>
*最適な生産体制構築に向け適宜検討・変更予定



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

サステナビリティ重点課題への取り組み(全体像)

各事業との関連性、社会・環境への影響度、自社財務への影響度の視点から設定した重点課題に沿って具体的なアクションを実践

★最注力課題

環境との調和

① 脱炭素社会の実現 ★
② 循環型社会の実現
③ 自然共生社会の実現 ★

社会との共栄

④ 地域との共栄 ★
⑤ 健康価値の提供
⑥ 責任ある飲酒の推進 ★

人財の活躍

⑦ 多様な人財の活躍 ★

⑧ 持続可能なサプライチェーン構築

⑨ 安全な製品、施設の提供

ガバナンス

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

サステナビリティ重点課題への取り組みと社外からの評価

環境との調和

再生農業で栽培し環境負荷を低減した麦芽「Regenova(リジェノヴァ)」をビールに初めて採用



詳細はこちらを参照ください

CDP「気候変動」「水セキュリティ」「サプライヤーエンゲージメント評価」Aリストに選定

詳細はこちらを参照ください

神奈川エリアにおける共同配送の開始について

キリングループロジスティクス株式会社とサッポログループ物流株式会社は、2026年6月から神奈川エリアで共同配送の取り組みを開始。

詳細はこちらを参照ください

社会との共栄

サッポロビールと東京都立大学がお酒・ノンアルコール飲料の飲用時の心理に着目した共同研究を本格始動

心理学的手法を活用し「適正飲酒を念頭に置いた体験価値創造につながる飲み方の提案」に繋がる研究を行い、お酒・ノンアルコール飲料を様々な飲み方で飲用した時のポジティブな心理的変化等を調査。



詳細はこちらを参照ください

ポッカサッポロフード＆ビバレッジ農林水産省「食育実践優良法人2026」に初認定

*サッポロビールは、旧社名サッポロホールディングスとして、同認定を取得しています。

詳細はこちらを参照ください

箱根駅伝のチャリティ販売売上金を箱根町に寄付

詳細はこちらを参照ください

人財の活躍

サッポログループの7社が「健康経営優良法人2026」に認定

*健康経営優良法人の認定企業数は、2026年6月の事業構成の見直しおよび2026年7月の事業持株会社制への移行を反映し、ニュースリリース掲載時の対象企業数（9社）から7社へ変更しています。

詳細はこちらを参照ください

プラチナくるみん
サッポロビール9年連続、ポッカサッポロフード＆ビバレッジは初取得

社外からの評価

「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」組入れ

FTSE 4good、FTSE JPX Blossom Japan Indexについては引き続き組入れ。

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

財務指標・事業利益の状況

財務指標

	Q2実績		通期	
	2025Q2	**2026Q2**	2025年	**2026年計画**
ROE	-	**-**	9.4%	**83.4%**
事業利益	49億円	**68億円**	250億円	**220億円**
EBITDA	134億円	**154億円**	420億円	**386億円**
海外売上収益	585億円	**614億円**	1,229億円	**1,235億円**

事業利益率

	Q2実績		通期	
	2025Q2	**2026Q2**	2025年	**2026年計画**
国内酒類	6.1%	**7.6%**	9.0%	**8.8%**
外食	7.2%	**5.9%**	9.5%	**9.1%**
国内食品飲料	0.8%	**3.5%**	3.8%	**4.1%**
海外酒類	▲1.0%	**▲0.0%**	1.1%	**2.1%**
海外飲料	5.1%	**1.5%**	4.6%	**5.3%**

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

財政状態計算書(バランスシート)の状況

(億円)

資産	2025期末	2026Q2	増減
現預金	224	2,171	1,947
営業債権	945	779	▲166
棚卸資産	457	462	5
売却目的で保有する資産	1,686	22	▲1,664
流動資産その他	93	376	283
有形固定資産及び無形資産	1,508	1,495	▲13
投資不動産	826	720	▲107
のれん	225	221	▲4
非流動資産その他	573	2,459	1,885
資産合計	6,537	8,705	2,168

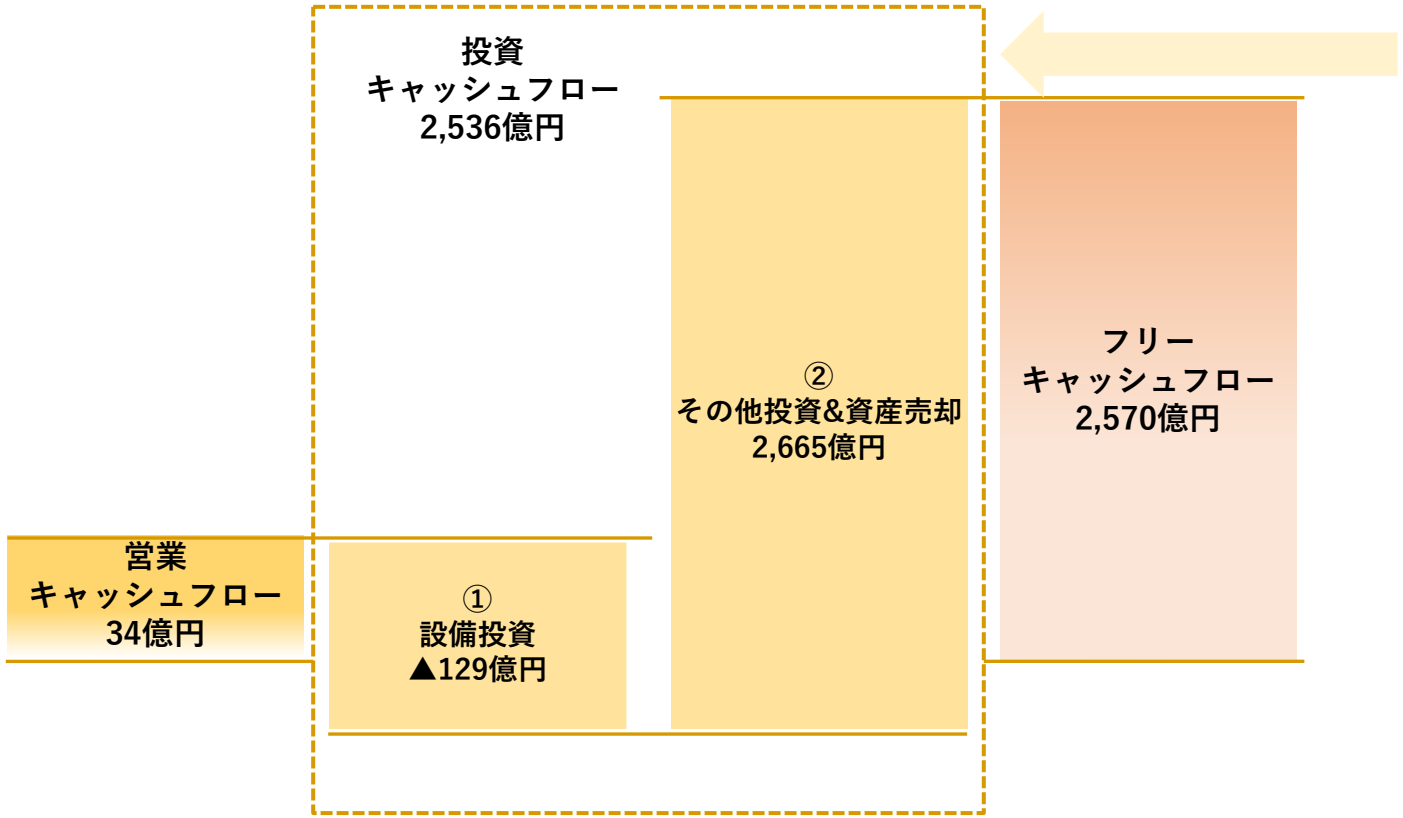
負債・純資産	2025期末	2026Q2	増減
営業債務	364	335	▲29
短期金融負債	514	285	▲229
売却目的で保有する資産に直接関係する負債	291	17	▲274
流動負債その他	1,008	844	▲164
長期金融負債	1,192	861	▲331
退職給付に係る負債	26	23	▲3
非流動負債その他	940	1,197	258
負債合計	4,336	3,563	▲773
親会社所有持分	2,189	5,129	2,941
非支配持分	13	13	0
資本合計	2,201	5,142	2,941
負債・資本合計	6,537	8,705	2,168

ネットD/Eレシオ（倍）	0.7	-	-
ネット金融負債残高	1,482	▲1,024	▲2,507

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

キャッシュフローの状況

（億円）	2025Q2	2026Q2	増減	増減率
営業活動によるCF	105	34	▲71	▲67.4%
投資活動によるCF	▲36	2,536	2,572	―
フリーCF	69	2,570	2,501	―
財務活動によるCF	▲98	▲625	▲527	―



＜投資金額（①+②）＞ **2,536億円**

① **設備投資**（支払ベース） ： **▲129億円**

（有形固定資産・無形固定資産・投資不動産）

＜主な内訳＞

・国内：▲57億円
　酒類：▲47億円　外食：▲6億円　食品飲料：▲5億円

・海外：▲22億円
　酒類：▲20億円　飲料：▲2億円

・不動産：▲44億円

・全社：▲5億円

② **その他投資 & 資産売却 ： 2,665億円**

（株式売却他）

政策保有株式7銘柄売却（売却額：38億円）

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

国内事業データ

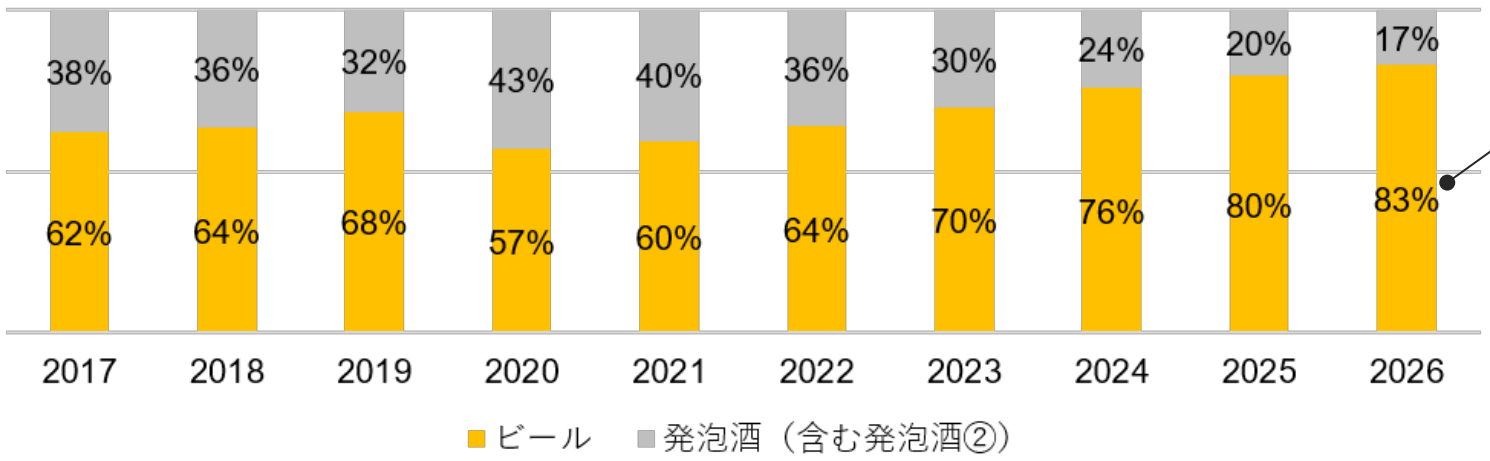
国内酒類

（万函 ※1）

国内酒類　売上数量（※2）	2025Q2	2026Q2	前期比
①ビール計	1,421	1,487	4.6%
黒ラベル計	815	830	1.8%
ヱビス計	253	251	▲0.8%
②発泡酒（含む発泡酒②）計	364	301	▲17.3%
ビールテイスト合計（①+②）	1,785	1,788	0.2%

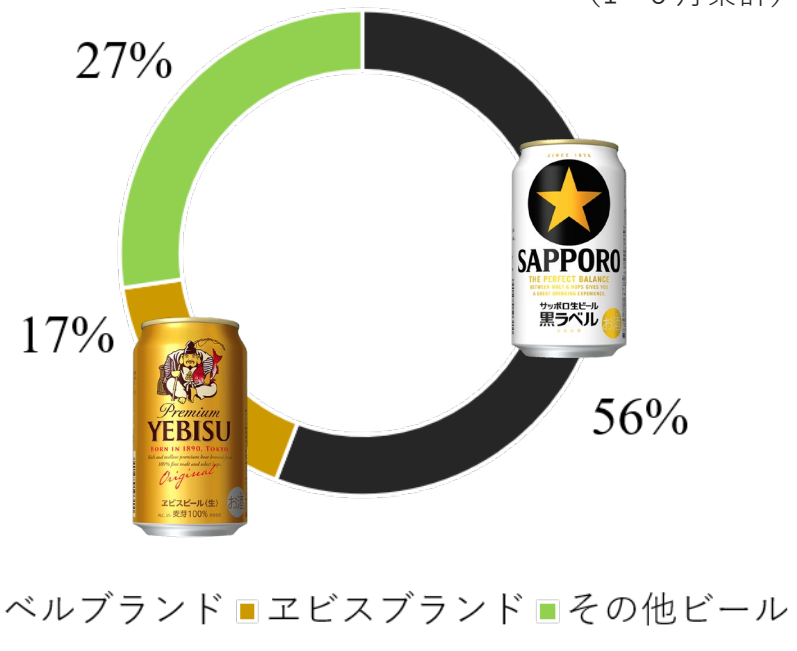
※1：大瓶換算
※2：ビール酒造組合での合意により、国内ビール類の売上数量実績は、第２四半期及び第４四半期のみ開示しております。

＜ビール構成比10年推移＞（1~6月累計）



＜ビールカテゴリー 売上数量構成比＞

（1~6月累計）



Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

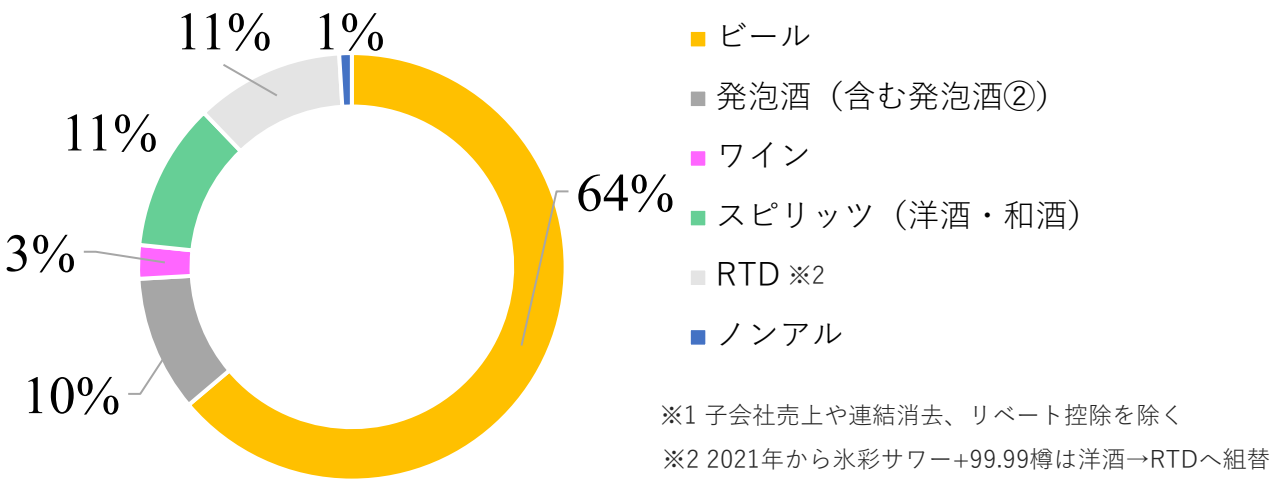
国内事業データ

国内酒類

（億円）

国内酒類　売上金額	2025Q2	2026Q2	前期比
ビール	792	**847**	7.0%
発泡酒（含む発泡酒②）	160	**137**	▲14.5%
ビールテイスト合計	952	**984**	3.4%
RTD	159	**149**	▲6.2%
国産ワイン	5	**5**	▲2.6%
輸入ワイン	28	**29**	4.0%
ワイン計	33	**34**	3.0%
スピリッツ（洋酒・和酒）	150	**148**	▲1.1%
合計	1,293	**1,315**	1.7%

＜売上金額 事業別構成比＞（1~6月累計）※1

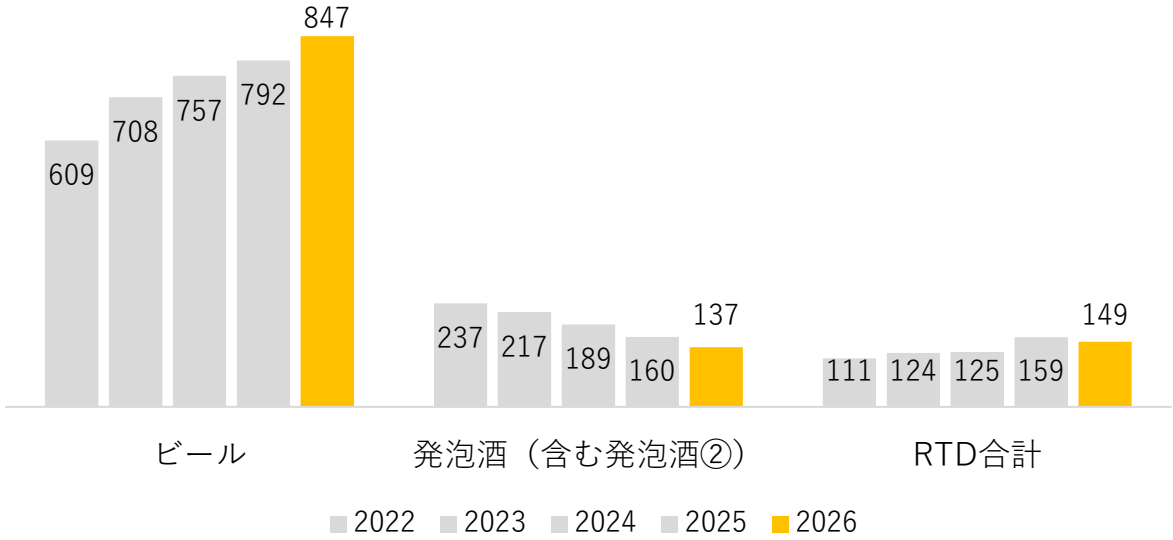


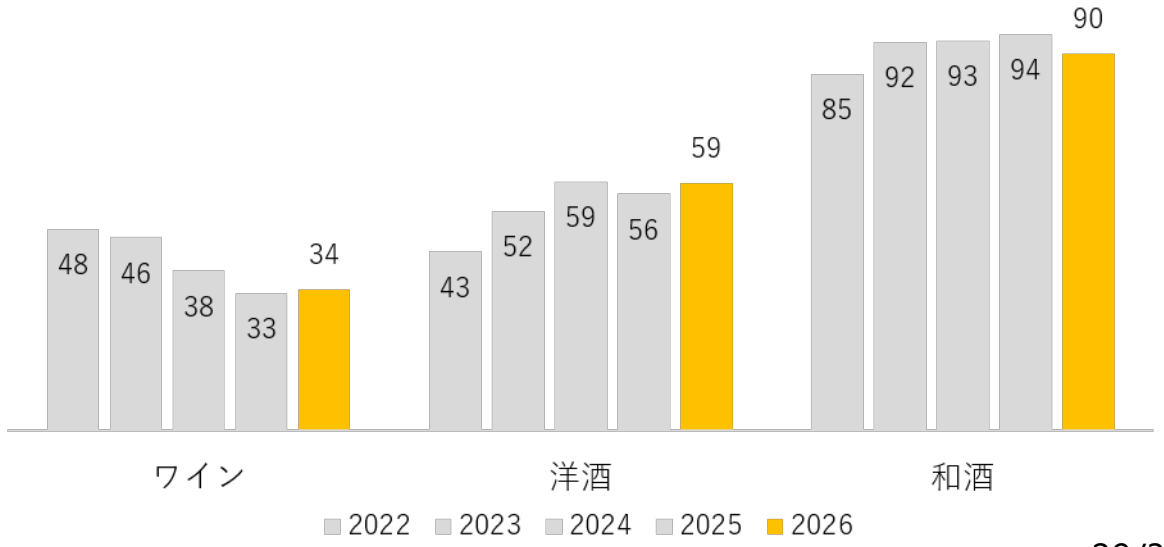
※1 子会社売上や連結消去、リベート控除を除く

※2 2021年から氷彩サワー+99.99樽は洋酒→RTDへ組替

＜事業別 売上金額 推移＞（1~6月累計）

（億円）



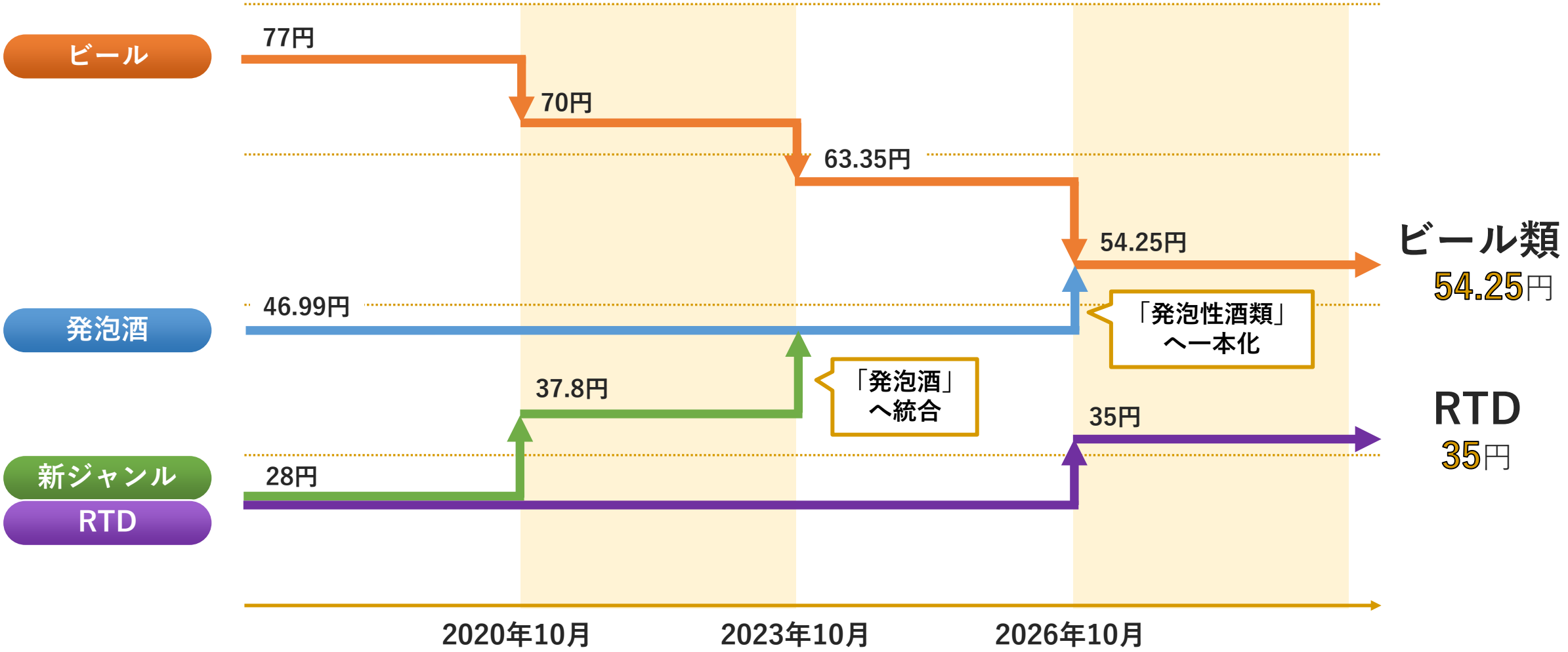


Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

国内事業データ

国内酒類

＜ビール類酒税一本化: 350ml当たりの酒税額の推移＞



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

国内事業データ

国内酒類 <参考: 国内ビールのカテゴリ名称の考え方>

税制区分中心のカテゴリ分類から、価値軸によるカテゴリ分類へ移行する。
税制・品目に依存せず価値軸で各ブランドを定義する。

＊ 同カテゴリにビール、発泡酒など複数の品目がカテゴライズされるようになる

＜これまで＞

税制区分・品目によるカテゴリ

ビール
（プレミアム＋スタンダード）

発泡酒+新ジャンル
（発泡酒②）

＜これから＞

価値軸によるカテゴリ

当社商品カテゴリ区分

プレミアム



・ヱビスビール
・SORACHI1984　etc

メインストリーム



・サッポロ生ビール黒ラベル
・サッポロクラシック　etc

エコノミー



・GOLD STAR
・麦とホップ
・北海道生搾り　etc

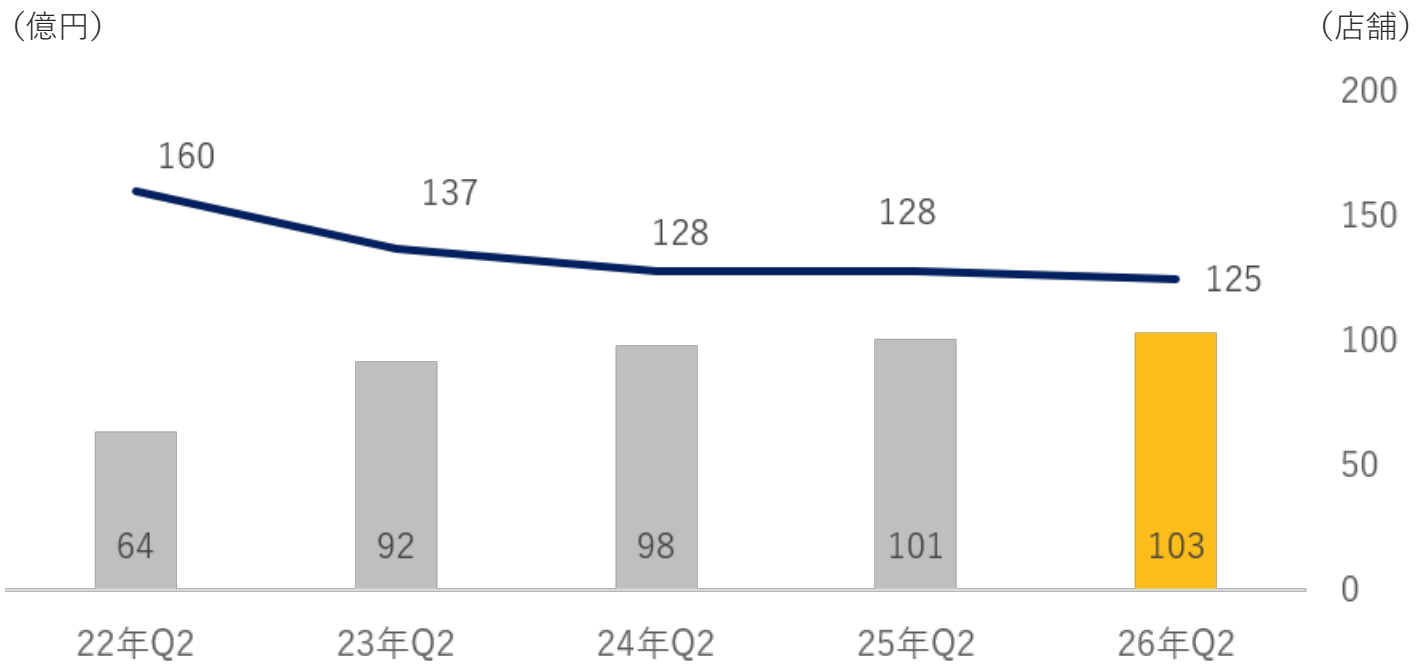
Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

国内事業データ

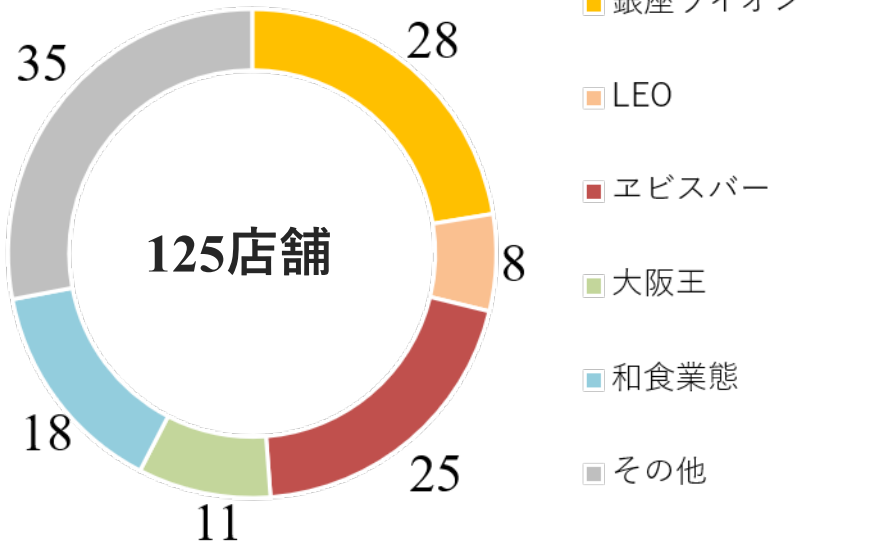
外食

外食	2025Q2	2026Q2	前期比
売上収益 （億円）	101	103	2.0%
店舗数	128	125	▲2.3%

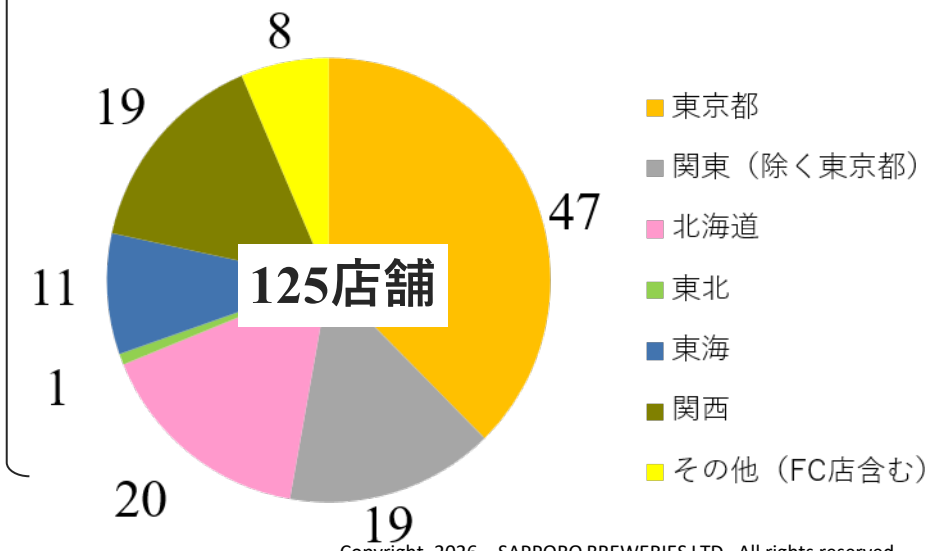
＜外食事業の売上収益と店舗数の推移＞（1~6月累計）



＜店舗数業態構成比＞



＜店舗数地域別構成比＞



Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

国内事業データ

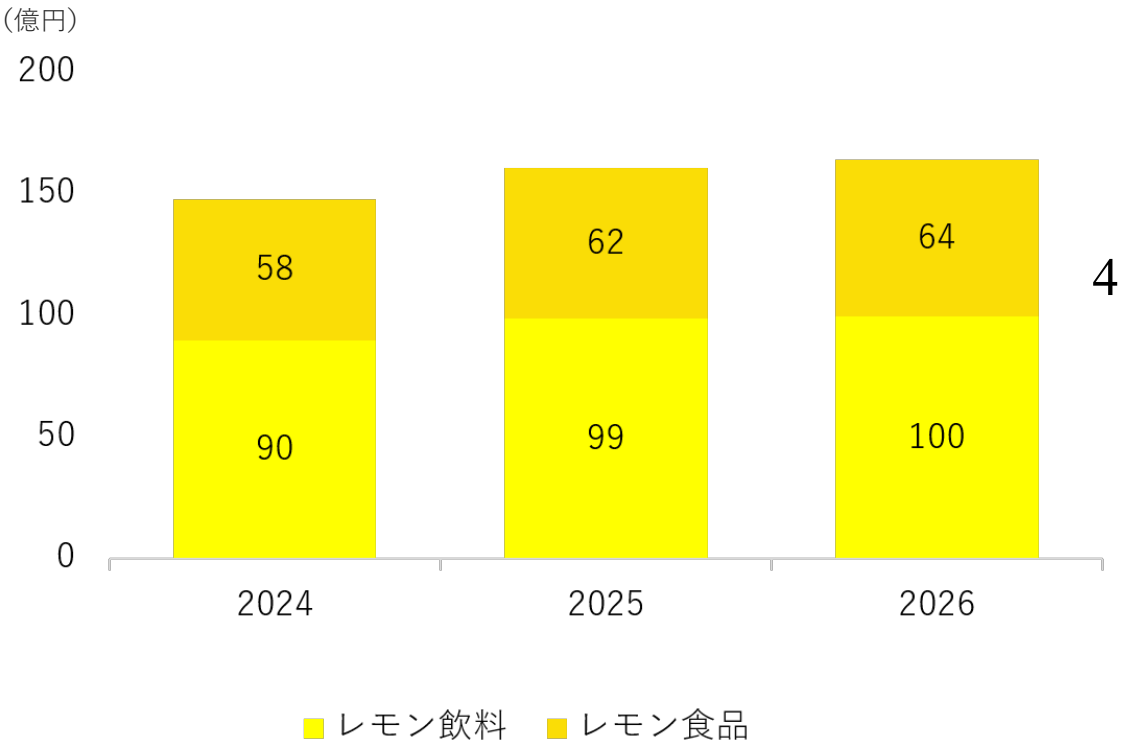
国内食品飲料

（億円）

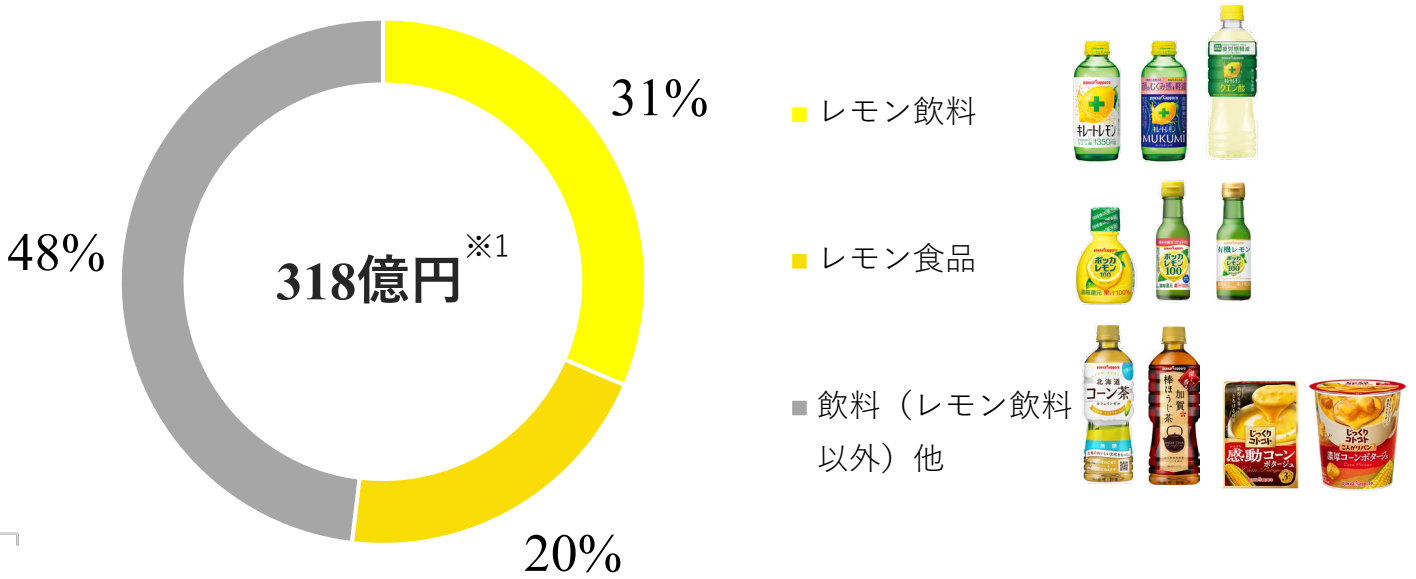
国内食品飲料　売上金額（※1）	2025Q2	2026Q2	前期比
レモン（レモン飲料・レモン食品）	161	**164**	2.5%
飲料（レモン飲料以外）他	185	**153**	▲17.3%

※1：ポッカサッポロフード＆ビバレッジ単体 国内売上のみ。（リベート控除前）

＜レモンの売上金額推移＞（1~6月累計）



＜売上金額構成比＞（1~6月累計）



Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

海外事業データ

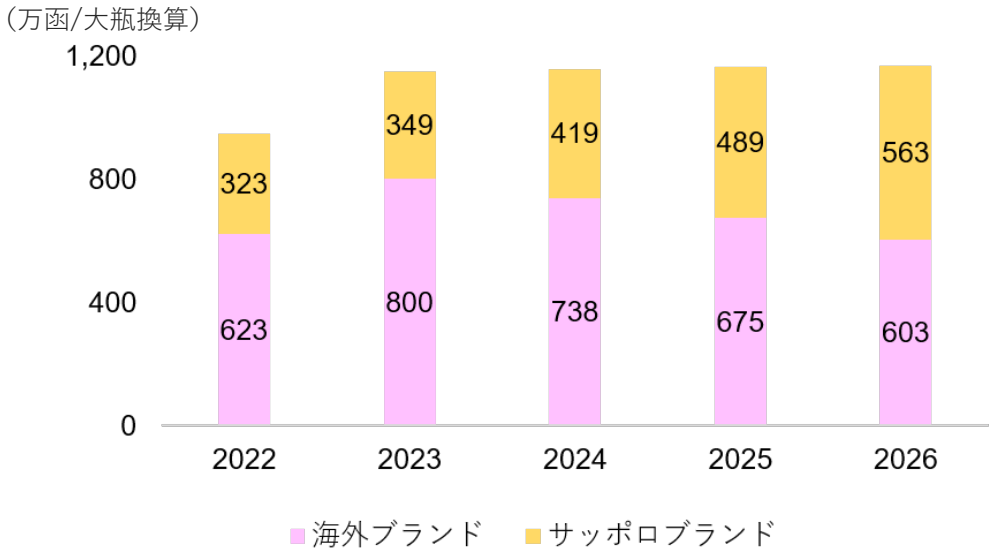
海外酒類

（万函）

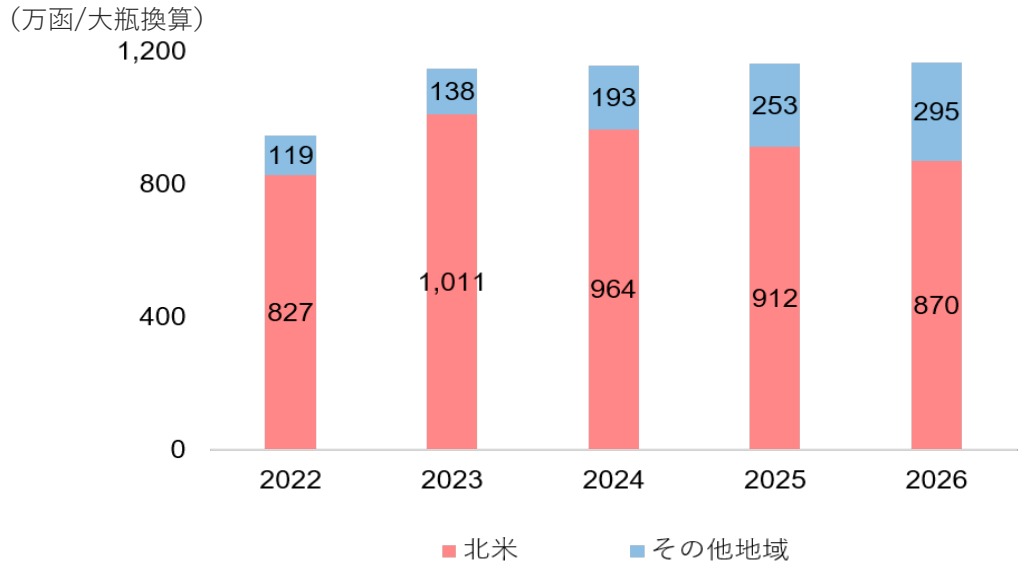
海外ビール類　売上数量	2025Q2	2026Q2	前期比
海外ブランド（※1）	675	**603**	▲10.7%
サッポロブランド	236	**267**	13.2%
①北米	912	**870**	▲4.5%
サッポロブランド	253	**295**	16.8%
②APAC・欧州(ベトナム含む)他	253	**295**	16.8%
サッポロブランド合計	489	**563**	15.0%
合計（①+②）	1,165	**1,166**	0.1%

※1：Sleeman社、Stone社を含む。

＜海外ビール類 ブランド別 売上数量推移＞（1~6月累計）



＜海外ビール類 エリア別 売上数量推移＞（1~6月累計）



Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD.　All rights reserved.

参考情報リンク先

■IR・財務情報
https://www.sapporobreweries.com/ir/

■統合報告書・FACTBOOK*1
https://www.sapporobreweries.com/ir/library/factbook/

■個人投資家のみなさまへ
https://www.sapporobreweries.com/ir/investor/

■サステナビリティ
https://www.sapporobreweries.com/sustainability/

■シェアードリサーチ アナリストレポート(外部サイト)*2
https://sharedresearch.jp/ja/companies/2501





*1 FACTBOOKは当社グループ概要、中期経営計画、事業概況・データ等をまとめた資料です
*2 シェアードリサーチはシェアードリサーチ社が中立性および客観性を重視し、第三者の視点から情報を収集・整理・分析のうえ作成した資料です

Copyright, 2026 SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.

より豊かな未来を開拓する



本資料は、投資判断の参考となる情報提供のために作成されたものであり、投資勧誘又はそれに類する行為を目的としたものではありません。
また、本資料に記載された業績予測ならびに将来予測は、資料作成時点での弊社の判断であり、潜在的なリスクや不確実な要素が含まれています。
従って、将来実際に公表される業績等は、本資料に記載されている内容とは大きく異なる結果となる可能性があります。
弊社は、本資料の情報を使用されたことにより生じるいかなる損害についても責任を負うものではありませんので、ご了承ください。

Copyright, 2026　SAPPORO BREWERIES LTD. All rights reserved.